[成果情報名] イチゴ「ゆめのか」、「さちのか」におけるナミハダニの発育および増殖率 の差異

[要約] ナミハダニの発育および増殖率は「ゆめのか」、「さちのか」の品種に影響されない。

[キーワード] イチゴ、ゆめのか、ナミハダニ

[担当] 長崎県農林技術開発センター・環境研究部門・病害虫研究室

[連絡先] 電話 0957-26-3330

[区分] 野菜

[分類] 指導

[作成年度] 2017 年度

[背景・ねらい]

本県の主要園芸品目であるイチゴではハダニ類による被害が深刻化しており、本県病害 虫防除所では平成 24 年よりほぼ毎年イチゴの育苗期や本圃で注意報を発表している。一方で、生産現場からは 「ゆめのか」の方が「さちのか」よりハダニ類が多発しやすいという指摘があり、その確認が急務となっている。そこで、「ゆめのか」および「さちのか」 それぞれの累代飼育個体を用い、「ゆめのか」と「さちのか」のリーフディスクによるナミハダニの孵化率、発育日数、成虫生存日数や生涯産卵数を調べ、両種間の差異を明らかにする。

[成果の内容・特徴]

- 1. ナミハダニのふ化率、成虫化率およびメスの発育日数は、「ゆめのか」、「さちのか」の品種に影響されない(表1、表2)。
- 2. ナミハダニの雌成虫生存日数および生涯産卵数は、寄生する品種が変われば低下する (表1、表2)。

[成果の活用面・留意点]

- 1. 試験で使用したナミハダニは黄緑型である。
- 2. これらの結果は、気温や植物体の生育状況などにより変わる可能性がある。
- 3. カンザワハダニでの品種間差は不明である。

[具体的データ]

表 1 イチゴ「ゆめのか」、「ゆめのか」における「ゆめのか」飼育ナミハダニの発育および産卵数 (2016)

拉锤口锤	ハダニ	卵ふ化率	成虫化率	発育日数(日)		雌成虫	生涯産卵数
接種品種	飼育品種	(%)	(%)	雌	雄	生存日数(日)	(個)
ゆめのか		89. 3	98.0	11. 4 ± 0 . 1	11.5 \pm 0.2	25. 7 ± 1. 3 *	155. 2±10. 1 ***
	・みみのか	(50)	(49)	(37)	(12)		
さちのか	・ ゆめのか	84. 9	100	11.6 \pm 0.2	11.8 \pm 0.5	22. 4 ± 1.0	99. 5 ± 5.8
		(45)	(45)	(36)	(9)		

- 1)供試卵数: ゆめのか 56 個、さちのか 53 個
- 2) 温度 25℃、日長 16 L 8 D
- 3) () 内の数値は個体数
- 4) 平均±S.E.

表 2 イチゴ「ゆめのか」、「さちのか」におけるナミハダニの発育および産卵数 (2017)

接種品種	ハダニ 飼育品種	卵ふ化率 (%)	成虫化率 (%)	発育日数(日)		雌成虫 生存日数(日)	生涯産卵数 (個)
	即月吅俚	(70)	(70)	雌	雄	生行日数(日)	
ゆめのか	ゆめのか	94.0	97. 9	12.4 \pm 0.3 a	13.0 \pm 0.3 a	34.5 \pm 1.5 a	113.3 \pm 4.3 ab
		(47)	(46)	(23)	(23)		
	さちのか	94. 0	93. 6	12.7 \pm 0.3 a	12.9 \pm 0.2 a	34.2 \pm 1.5 a	105.6 ± 4.6 b
		(47)	(44)	(31)	(13)		
さちのか	ゆめのか	94. 0	95. 7	13.2 \pm 0.4 a	13.3 \pm 0.4 a	31.2±1.8 a	116.3 \pm 6.9 ab
		(47)	(45)	(28)	(17)		
	さちのか	90.0	100	12.8±0.3 a	11.7±0.2 b	33.8±2.0 a	129.2±6.6 a
		(45)	(45)	(28)	(18)		

- 1)供試卵数: ゆめのか、さちのか各 50 個
- 2) 温度 25℃、日長 16 L 8 D
- 3) () 内の数値は個体数
- 4) 平均±S. E.

[その他]

研究課題名:単収日本一を目指したイチゴ「ゆめのか」の増収技術開発

予算区分:県単

研究期間: 2016-2018 年度

研究担当者: 吉村友加里、永石久美子、植松綾子、寺本健